

マーケットの動き（2025年7月14日～7月18日）

先週の国内債券市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。週前半は、参議院選挙を控え、財政悪化懸念が高まったことや、米長期金利が上昇したことなどをを受けて、債券は売られました。週後半は、FRB（米国連邦準備制度理事会）高官の利下げ言及や、18日に実施された日銀買い入れオペの結果が売り意欲の弱さを示したことなどから、金利は低下しました。クレジット市場は、旺盛な投資家需要を背景に、堅調に推移しました。

投資環境見通し（2025年7月）

国内長期金利はレンジ内で推移

日銀は引き続き利上げを行う姿勢を示すものの、通商政策を巡る先行きの不確実性は高い状況と指摘し、早期の利上げについては慎重とみられています。こうした中、財務省は国債発行計画の見直しを行い、超長期の減額を決定したことが中長期に対する上昇圧力の抑制につながるとみられる一方、参議院選挙を前に財政出動するとの見方も広がりやすいことから、国内長期金利はレンジ内で推移するとみています。

	7月18日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（日本、%） （変動幅）	1.53	0.04	0.07	0.33	0.48
NOMURA-BPI総合 （騰落率）	345.43	▲0.15%	▲0.64%	▲2.86%	▲3.46%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202507_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日本国債利回りの推移

（期間：2024年6月28日～2025年7月18日）



NOMURA-BPI総合指数の推移

（期間：2024年6月28日～2025年7月18日）



※2024年6月28日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成